

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

5年 9 月 27 日

和泉市長 あて

団体名 ガールスカウト大阪府第28団

代表者名 稲井 佳奈枝

所在地 和泉市上町105-5

電話番号 0725-40-0003

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

| | |
|--------------|--|
| 事業名 | ～みんなでSDGSを達成しよう～ |
| 申請コース | (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース |
| 事業費総額 | 613,000 円 (うち、対象経費 613,000 円) |
| 支援金 交付申請額 | 300,000 円 |

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

| | | | |
|---|---|-----------|------------------|
| フリガナ | ガールスカウトオオサカフダイニジュウハチダン | | |
| 団体名 | ガールスカウト大阪府第28団 | | |
| 団体の目的 | 「自然とともに」「人とのまじわり」「自己開発」に基づいて活動し、体験を通して、コミュニケーション力、実行力、責任感を身に付け、少女と女性の可能性を最大限に伸ばすこと | | |
| 市内事務所の所在地 | 〒594-0002 和泉市上町105-5 | | |
| | 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】 | | |
| | 電 話 | (40) 0003 | F A X (45) 3003 |
| フリガナ | イナイ カナエ | | |
| 代表者氏名 | 稲井 佳奈枝 | | |
| 連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方 | (連絡責任者氏名)※ | | 電 話 (40) 0003 |
| | フリガナ | イナイ カナエ | F A X [REDACTED] |
| | 稲井 佳奈枝 | | |
| | (住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。 | | |
| 設 立 年 月 | 1975年 10月 | 主な活動地域 | 和泉中央～信太山付近 |
| 会報等の発行 | 有(年2回発行) ・ 無 上部団体発行のもの | 会員数 | 26人 |
| メールアドレス | [REDACTED] | | |
| ホームページ | http://girlscouts-osaka28.jimdofree.com/ | | |
| 主な事業内容 | 野外活動、野外炊飯、キャンプ、アドプトロード・リバー清掃、みどりの募金、歳末助け合い募金、スキー、スケート、緑化活動、自然観察会、SDGsに関する活動、ジェンダー教育、海外交流など | | |
| 主な活動の実績 | <ul style="list-style-type: none"> 和泉市ちよいず事業にエントリー（2014～2019の6年間） 大阪府より河川愛護功績者として表彰される（2015年） おおさか環境賞奨励賞を受賞（2023年4月） | | |
| 国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載) | 年度 | 名称 | 金額(円) |
| | | | |

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

| | |
|---|--|
| 1 事業名 | ～みんなでSDGsを達成しよう～ |
| 2 申請コース | <input type="checkbox"/> 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース |
| 3 事業の必要性（※別紙添付可） | |
| ① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 | |
| <p>SDGs の必要性、有用性が叫ばれている昨今において、SDGs って聞いたことはあるけど、自分たちには関係ないと思われている方も少なくないと感じています。興味関心はあるけれども、なんだか難しそうだし、意味がよくわからない、どうしたら良いのかわからない。そんなご家庭に向けて、私たちと一緒に SDGs について考え、取り組んでいただける場を持ち、「SDGs ってこういうことだったんだ」「これならわが家でも続けてやれそうだ」という気づきをいただける機会としてつなげていきたいと考えています。</p> <p>私たちガールスカウトは、SDGs の前身である MDGs の時から継続的にこれらの問題への取り組みを続けています。この SDGs という枠組みを一緒に捉え、諸問題に取り組みながら、少女と女性が活躍できる機会として、ともに成長できる場にしていきたいと願っています。</p> <p>男女共同参画ができる社会の実現に向けてますます期待が高まっている中で、社会的弱者となりがちな少女と女性が活躍する機会を増やしていくことで、少女と女性の地位と権利の向上、意識の变革へとつなげます。</p> | |
| ② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 | |
| <p>私たちの達成したい重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SDG5：ジェンダー平等を実現しよう」 世の中において、何をするにしても管理職などの責任のある立場にあるのは、まだまだ男性の割合が多いというのが実情です。これは SDG のどの項目においても貫いて横たわっている現実であると言えますが、そのような場において、私たち女性の団体が参画することで、おのずと女性の参画率が上がり、機会均等の場をつくることに寄与することができます。また、どのような場所でもリーダーシップを取れることを目指して、リーダーシップの取れる女性を育てていきます。 ・「SDG11：住み続けられるまちづくりを」 私たちは、アドプトロードとリバーを清掃することで、きれいな道路、きれいな河原、きれいなまちづくりを担います。また、歳末助け合い募金活動では、得た資金の全てを市の福祉に寄付をして、より良いまちの暮らしに貢献します。 ・「SDG12：つくる責任つかう責任」 私たちは、和泉市の木材などの資源を使って、工作物を作ります。森は適切に間伐され、伐採で出た木材は貴重な資源です。私たちの作る比較的大きな工作物は、木材を簡易的な麻紐などで結索し、解きやすいように作り、何度も組み立てて使った後に最後には燃料として薪に使うことで、地球に負荷の少ない持続可能なサイクルと方法を子ども達に伝えていきます。 | |

・「SDG17：パートナーシップで目標を達成しよう」

私たちガールスカウトだけでは、これらの諸問題への取り組み・実現に向けて活動をしていくのは困難であり、様々な企業や団体、行政などとのパートナーシップで協働し、ともに同じ目標に向かっていく中で、ようやく何かしらの形をつくっていけるものであること、自覚することと働きかけをすることの両面で行っていきます。

私たちが達成しようとするその他の関連目標

- ・SDG1：貧困をなくそう
- ・SDG3：すべての人に健康と福祉を
- ・SDG6：安全な水とトイレを世界中に
- ・SDG7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ・SDG10：人や国の不平等をなくそう
- ・SDG13：気候変動に具体的な対策を
- ・SDG14：海の豊かさを守ろう
- ・SDG15：陸の豊かさを守ろう

4 事業内容（※別紙添付可）

①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。

1. アドプトロードの清掃

（一般参加予定者数：20人 実施場所：和泉市立保健センター周辺）

捨ってもなくならないゴミから、住み続けられるまちを作っていくには適切な維持管理が必要であり、それにはかかるエネルギーが必要であることも体感し、プラスチックや缶は土に還らないことや、それぞれにどのように処理をするのが適切であるかなど、体験を通して知る。（SDG11.15）

2. アドプトリバーの清掃

（一般参加予定者数：15人 実施場所：和泉市立総合医療センター前）

上記の内容に加え、川は海につながっていること、河原のゴミは海へ流れ着くこと等を知る。（SDG11.14）

3. 宿泊を伴う研修

（一般参加予定者：10人 実施場所：①信太山青少年野外活動センター ②戸隠ガールスカウトセンター）

普段の活動において、なるべく公共の交通機関を使用し、目的地まで重たい荷物を背負って自分の足で歩くことで、環境に対する負荷について身をもって知る。ご飯を食べるにもスイッチを押すだけでなく、薪から火を起こして自分たちで調理をすることで、エネルギーと食料の大切さも知る。テントで宿泊することで、しっかりした屋根と壁のある家、背中が痛くない布団で寝ることができる、そんな当たり前の日常のありがたみを思い知る。困難が多くある中で協力することの大切さ、リーダーシップの重要性について学ぶ。（SDG5.6.7.12）

4. 緑の募金

（一般参加予定者：10人・実施場所：エコール・いずみまたは和泉府中駅前）

種を植えたら芽が出て、花が咲く、樹になるという緑化のプロセスについて知り、自らの緑化活動も実施しながら、募金を通してより多くの人にもしてもらったり協力してもらったりして、緑の輪を広げる。（SDG15.17）

5. なかよしプロジェクト

(一般参加予定者：10人・実施場所：大阪府立堺聴覚支援学校)

大阪府立聴覚支援学校の生徒達との交流会と文化祭に参加。目や耳にハンデのある方のことを知り、手話を学んだり点字に触れたりしながら、基本の生活の中で知らないうちに生まれている不平等について考え、その中で自分たち出来ることは何かを考え実行する。(SDG5.10)

6. 夕涼み会

(一般参加予定者50人・実施場所：コスモ中央公園)

少女と女性が他を楽しませることを自ら企画・実行のプロセスを通してリーダーシップを身に付けることを主目的とし、その中で水鉄砲の遊びを通して打ち水効果を検証するなど、どのようにしてSDGsに関連付けていくかも考える機会にする。(SDG5.6.13)

7. たき火マイスターになろう！イベント開催

(一般参加予定者40人・実施場所：信太山青少年野外活動センター)

信太山青少年野外活動センターで11月10日(日)に開催。ガールスカウトの十八番である火起こしに特化したイベントであり、間伐材を有効活用することで、自然の循環について学ぶ機会となる。火という原始的かつ普遍的なエネルギーに触れることで、エネルギー問題を考えるきっかけにもなる。何を燃やし何を燃やさないか、何が燃えやすく着火しやすいか、適切な服装は何かなどを知る。これを一連の事業のメイン事業とする。(SDG5.7.12)

8. ボランティアフェスティバル出店

(一般参加予定者：10人・実施場所：エコール・いずみ)

少女と女性が自ら企画・作成した手作りのものを販売する。作成に当たって資材の調達や資源の大切さを知り、販売に当たっては売る際に生じる責任についても考える。(SDG5.12)

9. 商工まつり出店(詳細未定)

8. 「ボランティアフェスティバル出店」と同様に、作成したものの販売を行う。

10. 赤い羽根共同募金

(一般参加予定者：10人・実施場所：エコール・いずみまたは和泉府中駅前)

別名を歳末助け合い募金と言い、文字通りに年末にお困りの方に少しでも出来ることがある声を出すことで協力していただける方がいることを知る。ご協力いただいた募金は年内に和泉市長にお届けし、市長を通して社会福祉協議会へと届けられる。(SDG7.12)

11. 新年親子初集会

(一般参加予定者15人・実施場所：信太山青少年野外活動センター)

宿泊を伴わない野外研修。日帰りで宿泊こそしないものの、少女だけでなく、保護者も交えて野外での不便さを体験し、日頃の生活へ何かしらの気付きを持ち帰る。(SDG5.7.12)

12. ゆうゆうロビー事業

(一般参加予定者15人・実施場所：ゆうゆうロビー)

「8. ボランティアフェスティバル出店」と同様に、作成したものの販売を行う。(SDG5.12)

13. 国際交流事業

(一般参加予定者15人・実施場所未定)

皮膚の色や瞳の色、話す言葉が違えども、同じ地球の人間として、交わる学ぶ触れ合う機会を持ち、相手目線に立って考えてみるということから多様性について学ぶ。(SDG3.5.10)

14. その他必要に応じて研修会や自然観察会などSDGsに関連する事業への参加

| | |
|-----------|--|
| ②実施期間（日時） | 2024年4月～2025年3月 |
| ③実施場所 | 1. 和泉市立保健センター周辺 2. 和泉市立総合医療センター前 3. 信太山青少年野外活動センター及び戸隠ガールスカウトセンター 4. エコール・いずみまたは和泉府中駅前 5. 大阪府立堺聴覚支援学校 6. コスモ中央公園 7. 信太山青少年野外活動センター 8. エコール・いずみ 9. 未定 10. エコール・いずみまたは和泉府中駅前 11. 信太山青少年野外活動センター 12. ゆうゆうロビー 13. 未定 |
| ④主な対象者 | 少女（4歳以上）または女性とその家族 |
| ⑤参加予定者数 | 1：20人×8回 2：15人×2回 3：10人×2回 4：10人×1回 5：10人×2回 6：50人×1回 7：40人×1回 8：10人×1回 9：約100人程度 10：10人×1回 11：15人×1回 12：15人×1回 13：15人×1回 |
| ⑥告知方法 | チラシ、広報いずみ、市のメールとLINE、当団HPにて |

5 事業スケジュール

| 時期（月） | 内容 |
|--------------------|----------------------------------|
| 4.6.7.9.11.12.2.3月 | 1 アドプトロード清掃 |
| 5.10月 | 2 アドプトリバー清掃 |
| 4月下旬～5月上旬と 8月上旬 | 3 宿泊を伴う研修 |
| 5月 | 4 緑の募金 |
| 6.10月 | 5 なかよしプロジェクト |
| 8月末（夏休み期間中） | 6 夕涼み会 |
| 11月10日 | 7 ～みんなでSDGsを達成しよう～たき火マイスターになろう！～ |
| 11月 | 8 ボランティアフェスティバル |
| 時期未定 | 9 商工まつり出店 |
| 12月上旬 | 10 赤い羽根共同募金 |
| 1月中旬 | 11 新年親子初集会 |
| 2月 | 12 ゆうゆうロビー事業 |
| 時期未定 | 13 国際交流事業 |
| 不定期 | 14 研修会、自然観察会など |

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

（実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

| | |
|------|--|
| ①公益性 | (1) 広く市民の共感が得られる事業であるか ⇒SDGsの具体的目標を掲げているが、事業自体はやわらかい内容のため、広く市民の共感を得られる事業である。 (2) 事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか ⇒事業の成果は不特定多数の市民の利益のみならず、地球の海や川、山や森、地球サイズでの利益につながる事業である。 |
|------|--|

| | |
|--------------------------------|---|
| | <p>(3) 地域及び社会の課題解決につながる事業であるか ⇒比較的の子育て年代の若い層にリーチすることができるため、その世代を巻き込みながらある程度長いスパンを睨んだ持続可能な解決を考えることができる。また私たちは子どもの育成団体であることから、事業を通して子ども達とその保護者が一緒に成長していくことを重視し、本事業が子育てに悩む人や何かしらの困難を抱える人の一助になることを目指します。</p> |
| ②継続性 | <p>(4) 事業の成果が広く波及する事業であるか ⇒一緒にSDGsの切り口を学んだ人たちが、それぞれに、マイSDGsを持ち帰り、家庭や職場での実践が可能となる事業である。SNSやハッシュタグなども活用するため、広い波及効果が期待できる。</p> <p>(5) 補助金だけに頼らずに自己努力による財源確保に努めた事業であるか ⇒基本的には自主財源である会費で賄う事業である。支援金ではそれらの負担を少しでも軽減していただければありがたい。</p> |
| ③ 実行性 | <p>(6) 目的・効果が明確であり、実行可能な方法で事業計画、予算が立案されている事業であるか。 ⇒目的、効果ともに明確であり、実績のある独自プログラムがあることから、かかる予算も概ね現実的に算出している。</p> <p>(7) 事業の成果が期待できる体制を確保できているか ⇒後日アンケートを行い、後日開催の事業（11月、2月）への案内をし、直接的につながる場も設け、気軽に意見交換などができる導線とする。</p> <p>(8) 事業にかかる申請額が適切であるか ⇒過去の実施内容および金額から鑑みて適切である。</p> <p>(9) 団体の構成員や組織が安定しているか ⇒人員の大幅な入れ替えなく、安定している。</p> |
| ④協働性 | <p>(10) 広く市民や団体が参加・参画することができる事業であるか ⇒興味・関心さえあれば、老若男女問わずどなたにも参加・参画していただくことができる場所とテーマである。</p> <p>(11) 市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか ⇒各種SDGsプログラムを協働することで、市民や関係団体とが連携して目標に近づくきっかけになる</p> <p>(12) 世代や地域等、幅広い交流、協力が図られる事業であるか ⇒場所の特性、プログラムの特性、私たち団体の特性から見て、幅広い世代が交流し、相互協力を図ることができる事業である。</p> |
| ④ 公開性 | <p>(13) 事業内容を積極的に情報発信するように工夫されているか ⇒チラシを作成し、教育委員会の後援をいただきつつ、市から保幼小へ配布することで比較的若年層に向けて多くのリーチが得られる。市の広報や他の媒体から告知していただくことで、その他の層にも届けられ、また、チラシは図書館やスーパーなどの公共性が高い場所にも置いてもらうように努める。</p> <p>(14) より多くの市民が関心を持ち、事業に参加できるように工夫されているか。 ⇒最近巷で流行している「たき火」をメインに持つてくることで、市民のやってみたい気持ちを身近に捉えていただけの機会になっている</p> |
| ⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性) | <p>(15) 事業の発展や継続的な展望が期待できる事業であるか。 ⇒一つ何かをクリアできるようになれば、また次のステップへと進みたくなるもの。参加者も私たちも、双方がその時点での考えを共有し、今回に得ることができた課題は次回へとつなげ、それをまた参加者へ共有・還元して行きたい。</p> |

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：～みんなでSDGsを達成しよう～

1. 【収 入】

(単位：円)

| 項 目 | 金 額 | 積算根拠 |
|------|---------|---------------------|
| 支援金 | 300,000 | 和泉市市民活動推進支援金 |
| 事業収入 | 10,000 | 20家庭×500円 ⑥ |
| | 20,000 | 40人×500円 ⑦ |
| | 10,000 | 販売品売上(5,000円×2回) ⑧⑫ |
| | 10,000 | 10人×1,000円 ③-1 |
| | 200,000 | 10人×20,000円 ③-2 |
| 自主財源 | 63,000 | 会員より支出の活動費 |
| | | |
| 合 計 | 613,000 | |

2. 【支 出】

(単位：円)

| 費 目 | 金 額 | 積算根拠(数量、単価等) |
|-------|---------|--|
| 報償費 | 24,000 | 参加賞(300円×40人分×2回) ⑥⑦ |
| | 10,000 | 勉強会講師料(5,000円×2人) ③⑥⑦⑪のどれかで、SDGs関連の内容 |
| 旅費 | 200,000 | 宿泊を伴う研修の交通費(バス代往復) ③ (大阪～長野県戸隠市中型バス利用) |
| | 5,400 | 聴覚支援学校への交通費⑤ (小人90円×5人+大人180円×5人)×2回(往復)×2回(事業回数) |
| 消耗品費 | 45,000 | 文房具、インク、コロナ対策用品など |
| | 30,000 | イベント用材料費⑤⑥⑦⑪⑬ |
| | 20,000 | 販売用クラフト材料費⑧⑫ |
| | 20,000 | その他クラフト材料費③⑭ |
| | 5,000 | 燃料代(薪代など) ③⑦⑪ |
| | 8,000 | 熱中症対策用飲料費(参加者用) (200円×40人×1回) ⑥ |
| 食料費 | 16,000 | スタッフ用飲料費 (200円×10人×8回) ①②③⑤⑥ |
| 印刷製本費 | 25,000 | チラシ印刷(A4片面カラー7,000枚×2回分) ⑥⑦ |
| 役務費 | 10,000 | 郵便料、通信費、振込手数料、保険、ごみ処分費など |
| | 22,000 | 通信費(ZOOM使用料)会議と事業で使用 |
| | 60,000 | プログラム参加費用(4,000円×15人) ③ |

| | | |
|----------|---------|---|
| 使用料及び賃借料 | 16,200 | 施設利用料（小人 520 円×10 人〈スタッフ 5 人含〉＋大人 1,100 円×10 人〈スタッフ 5 人含〉×1 泊）③1 回目 |
| | 70,400 | 施設利用料（野営 2,640 円×10 人〈スタッフ 5 人含〉＋研修室 4,400 円×10 人〈スタッフ 5 人含〉）③2 回目 |
| | 19,500 | 施設利用料（小人 260 円×25 人〈スタッフ 5 人含〉＋大人 520 円×25 人〈スタッフ 5 人含〉）⑦ |
| | 6,500 | 施設利用料（小人 260 円×5 人、大人 520×10 人）⑪ |
| | | |
| 合 計 | 613,000 | |
| 対象経費 | 613,000 | |

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。
 ※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書 追加資料

| | |
|---|---|
| 1 団体名 | ガールスカウト大阪府第28団 |
| 2 事業名 | ～みんなでSDGsを達成しよう～ |
| 3 申請コース | (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース |
| 4 令和5年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。 | |
| (反省点) 昨年度予定していたことで実施できなかった事業もあったが、概ね予定していたように実施することができたと思う。 | |
| (課題) 前述のできなかつた部分は次年度はできるようにするというのが一つの課題であり、また更なる課題としては、市民を思うほど巻き込めていないという所にあると感じています。 | |
| (問題点) 次年度はもう少し一般受けする企画をメイン事業に持ってきたので、いくらか改善は見込めるものと想定しています。 | |
| 5 令和6年度事業において以下のことについて記入してください。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新たに取組む事項 ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項 ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に变化がある事項 等 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新たに取組む項目としては、いま世間でも流行の「焚き火」を主材にした事業を新たに持ってきていることと、世間の認知を広げるという目的で、商工まつりにエントリーすることを新設しました。 ・メインに据えている焚き火事業の実施規模や受け入れ可能人数も大幅に広げて市民へのご案内ができるのではないかと考えています。 ・支援金を受けることで存続が危ぶまれる我々の組織が一時的にでも潤い、余力が少し出ることで、また次年度も我々と一緒に活動したいと考えている会員・非会員ともにSDGsという架け橋を通してつながりを持ち、同じ目標に向かって持続的に共栄していけると良いのではないかと願っています。 | |

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。